

## Y12a すばる望遠鏡HSCの大規模データを使った市民天文学 2. ウェブサイトの開発

白田-佐藤功美子, 小池美知太郎, 柴田純子, 田中賢幸, 内藤誠一郎, 山岡均 (国立天文台)

すばる望遠鏡ハイパー・シュプリーム・カム (HSC) を使った大規模戦略枠サーベイ (HSC-SSP) の公開データを用いて、衝突銀河の分類に市民が参加する「市民天文学」を推進している (市民天文学は、国立天文台で行うシチズンサイエンスをさす造語)。非専門家 (市民) にとっては、最新のデータに触れることで天文学や天体画像の魅力を味わうことができ、研究者にとっては、より多くの天体を分類できるメリットがある。特に本プログラムでは、不定性の大きい銀河の形の分類に多くの人に関わることで、統計的に解析することが可能となる。

市民天文学ウェブサイト、銀河を巡るクルーズ船になぞらえ、GALAXY CRUISE と名付けて作成した。参加者が銀河について手軽に学び、自信を持って分類できるようにするため、サイト上に簡単な質問に答える形のトレーニングページを設けたが、その内容は、昨年度日本科学未来館の協力を得て、データ収集しながら作成したメニューのプロトタイプ (2019 年春季年会) を踏まえて作成した。

天文学への興味が高く、かつアクティブな天文ファン層がメインのターゲットではあるが、参加者が銀河分類を長く続けられるしかけを組み込んだ。例えば、完了した小領域の数にあわせて「おみやげ」を集められたり、領域の数にあわせてレベルアップできたりする。参加登録者はマイページにて、分類した銀河数などとともに、集めたおみやげや自分のレベルを見ることができる。また、ウェブサイトのアクティブ感を演出するため、ニュースとして衝突銀河についての豆知識や、本プログラムの進捗状況の報告など、新しい記事を毎月公開する。

本講演では、GALAXY CRUISE ウェブサイトの概要と、進捗状況について報告する。